

科目名：看護研究		必	1 単位 (45 時間)
(Nursing study) 履修年次/時期：3 年次 通年 授業形態：講義・演習 主担当教員：村井みどり（実務経験あり） 看護職としての実務経験 5 年以上：看護研究に必要な基礎的な能力を身につけられるよう教授する。 担当教員：眞田英子・久保貴巳子・永谷晃子・小原聖子			
学修目的	看護研究の意義を学び、論理的思考や倫理的配慮など、初学者が看護研究に取り組む上での基礎的知識を理解する。また研究計画書を作成し、研究プロセスの概要を理解する。CP3, 6 に関連する 科目：KNz-301		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	◎
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	1. 看護研究の必要性と意義について理解できる。 2. 看護研究の種類と特徴について理解できる。 3. 人を対象にした研究倫理について理解できる。 4. 研究に必要な文献検索ができる。 5. 研究計画書の作成・発表を通して研究のプロセスが理解できる。		
授業概要	看護研究の基本を学び、看護実践に関する諸問題を探究する必要性を理解する。実習で受け持った対象のケースレポートを作成し、論理的思考を育むとともに、研究の意義や倫理的配慮について学ぶ機会とする。		
評価方法	学習成果 課題① 文献レビュー 20% 課題② 研究計画書の作成 20% (研究グループ) 課題③ 発表資料 (研究計画書) の作成と発表 40% (研究グループ) 課題④ 研究活動を通しての学び 20% フィードバックは講義でおこなう。		
予習・復習時間	【予習】1.9 時間 【復習】1.9 時間		
教科書	ナーシンググラフィカ基礎看護学 4 看護研究		
参考書	授業中に適宜紹介します		
問い合わせ先	不在時はメールでお願いします 村井みどり：3 号館 3 階研究室 m.murai@kdu.ac.jp 眞田英子：3 号館 3 階研究室 sanada@kdu.ac.jp 久保貴巳子：3 号館 3 階研究室 k.kubo@kdu.ac.jp 永谷晃子：3 号館 3 階 共同研究室 a.nagatani@kdu.ac.jp 小原聖子：3 号館 3 階研究室		

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 ()	科目ガイダンス ①この授業で取り組む内容が理解できる。 看護における研究の意義と重要性 ①看護研究とは何かが理解できる。 ②看護における研究の必要性和意義について理解できる。 ③研究における倫理的配慮の原則を理解する。 看護研究の方法 ①看護研究のプロセスが理解できる。 ③研究デザインとは何かが理解できる。 ④研究論文にはさまざまなレベルがあることがわかる。 研究グループの決定（次回の授業までに伝える）	[予習]テキストの「1 看護研究とは」 「3 研究における倫理」を読む。看護研究とは何かの問いに答えられるよう自分の考えをもって授業に参加する。 [復習]自分が研究したい内容のテーマとキーワードを考える。教科書の看護研究とは何かを熟読する。 [キーワード]看護研究、研究の意義、研究倫理、研究プロセス、研究デザイン、研究者倫理	講義 ○村井
2 ()	論文クリティークとは ①クリティークとは何かが理解できる。 ②論文の読み方が理解できる。 ③論文の構成について理解できる。 ④文献をクリティークする際のポイントが理解できる。 演習「論文を読んでみよう！」 研究課題（テーマ）の選定 リサーチクエスチョンとは何かが理解できる。 研究グループで研究課題をみつけキーワードを考えられる	[予習] テキストの「2 研究課題の選定」「8 研究論文を読んでみよう/書いてみよう」を読む。自分が研究したい内容のテーマとキーワードを考える。 [復習]授業内容の復習を行う。リサーチクエスチョンとキーワードを考える。 [キーワード]研究論文の種類、リサーチクエスチョン、クリティーク	講義 演習 ○眞田 小原
3 4 A 班 () B 班 ()	文献検索の方法と実際 ①文献の種類と文献検索の方法がわかる。 ②文献検索し文献を入手する ③文献リストが作成できる。 文献レビューとは ①文献レビューの目的や方法が理解できる。 ②文献レビューの結果を他者に説明できる。 <u>課題①文献レビュー</u>	[予習]テキストの「2 研究課題の選定」を読み、文献検索方法について調べる。 [復習]文献検索し、文献を得る。 [キーワード]文献検索、文献レビュー、文献検索データベース、文献検索エンジン、クリティーク	講義 演習 ○永谷 小原 久保
5 ()	研究計画書とは ①研究計画書を作成する意義について理解できる。 ②研究グループで研究計画書が作成できる。 <u>課題②研究グループで研究計画書の作成</u>	[予習]課題を行い参加する。テキストの「6 研究計画書の作成」を読む。 [復習]指導結果をもとに修正する。 [キーワード]研究計画書	演習 ○久保 村井 永谷 小原

6 ()	研究実施後の成果のまとめと公表 論文作成と学会発表 学習成果の発表準備 課題②の研究計画書が承認された研究グループは <u>課題③発表の資料を作成する。</u>	[予習]課題を行い、助言してもらいたいことを考える。 テキストの「7 研究成果のまとめと公表」を読む。 [復習]指導結果をもとに修正する。 テキストの「4 量的研究の基礎」と「5 質的研究の基礎」を読む。	講義 演習 ○村井 久保 永谷 小原
7 () 8 ()	まとめ 学習成果発表 ①学習内容、取り組み、学びを明確にできる。 <u>課題③示説または口演発表を行い他者と学びを共有する。</u> <u>課題④レポートテーマ：研究活動を通しての学び</u>	[キーワード]学習成果の共有・発表 [予習] 他者に伝えたい内容を整理し参加する。 [復習]他者からの学びを整理する。 [キーワード]研究活動で得た学びの共有	講義 演習 ○村井 眞田 久保 小原 永谷